授業科目	文学					実務家教員担当科目	－
単位	2	履修	選択	開講年次	2	開講時期	後期
担当教員	戸田　由美						
授業概要	まず、あなた方が日頃、気が付かなかった面白い話をいたします。しかしそれは、見方を変えると思いがけないほどの重要な学びがあったりするのです。そういったことを 前提にして、文学的考察に入ります。この学びは、文学作品はもとより、生きている現象すべてを対象とし、それを分析し、自分の考えを自分自身の言葉で表現できるように、世界に向けて発信するべく習得する、大切な授業です。 したがって、「文学とは何か」…「文学とはあなた方にとってたいせつな実学」であることを学びます。 そのために、あらゆる視点から、テーマをさだめて、幾多もの方法で考察します。 目からウロコの大きな発見があることでしょう。楽しみにしていてください!!						
授業形態	講義			授業方法	ほとんど講義ですが、グループワークすることもあります。		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1、多角的に視野が拡がり、柔軟な発想ができる。 2、読解力が向上し、文学の基礎的知識を習得できる。 3、文学の背景にある日本文化、および西欧文化の理解を深めることができる。 こころとことばの深い関係性について習得し、正しい日本語を用いて美しく表現できる能力を併せもっていること。
理想的レベル	習得した文学的センスを生かし、豊かな表現力と柔軟な発想でもって、様々な事柄を相手に魅力的に伝える能力を兼ね備えていること。

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート	50%	
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物	20%	
その他	30%	

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	－	DP3	－	DP4	－	DP5	－	ナンバリング	CH10402J

学習課題（予習・復習）	1回の学習目安（時間）
復習すること	4

授業計画	
第1回	今、なぜ文学なのか、その意義について 文学とは実学であることを学びます。

第 2 回	「からだことば」ってなんでしょうか。 そのおもしろさを解説します。
第 3 回	「文学的エステの世界」について エステサロンではありません。 日本文化をあらわすキーワードはなにか追求します。
第 4 回	こころとことば　(1) 日本で一番古い愛の表現とは？
第 5 回	こころとことば　(2) 太陽の色は何色か？国際的視点で考察します。
第 6 回	こころとことば（３） 明治期の隠された文献の真実から戦争について探求します。
第 7 回	嘘つきのパラドックスについて 4 千年解けなかった事実と表現について考察します。
第 8 回	文学作品における愛情表現 源氏物語、光源氏の愛し方、愛され方を味わいます。
第 9 回	ベストセラー小説の意義について (社会学的考察をするとどうなるか) なぜベストセラーになっているのか、その理由と魅力を追求します。
第 10 回	日本文化について考える。 日本の代表的映画を鑑賞し、文化を学びます。
第 11 回	西洋的思想と日本的思想の相違について 西洋の映画を鑑賞し、人間模様等々から見受けられる日本的思想との相違について学びます。
第 12 回	障碍文学について 障がいをテーマにした文学作品等々の意義を考えます。
第 13 回	戦争・科学をテーマにした文学について 科学と文学の接点について。視点を変えた面白い発想を追求します。
第 14 回	文学と性に関する問題について 文学と性教育に関係性は、表現の問題としてジェンダーの域にまで関係してきます。 そういったことを見落とさないためにも重要な内容を学びます。
第 15 回	今までの講義について振り返り重要点を探ります。
テキスト	使用しません。
参考図書・教材／データベース・	講義中、必要に応じてプリントを配布いたします。

雑誌等の紹介	
課題に対するフィードバックの方法	レポート５０点
学生へのメッセージ・コメント	新聞は欠かさず読むこと。活字に親しむことがたいせつです。 従来の国語学習とは異なる日本文化、あるいは日本語への新しいアプローチとなりますから、講義中理解できなかったところは、必ず質問してください。 最後に提出するレポート、出欠状況などの総合点によって成績をつけます。

文学